

テレコントロール装置
XSW-211

取扱説明書

Ver.116 B10A06

＜目次＞

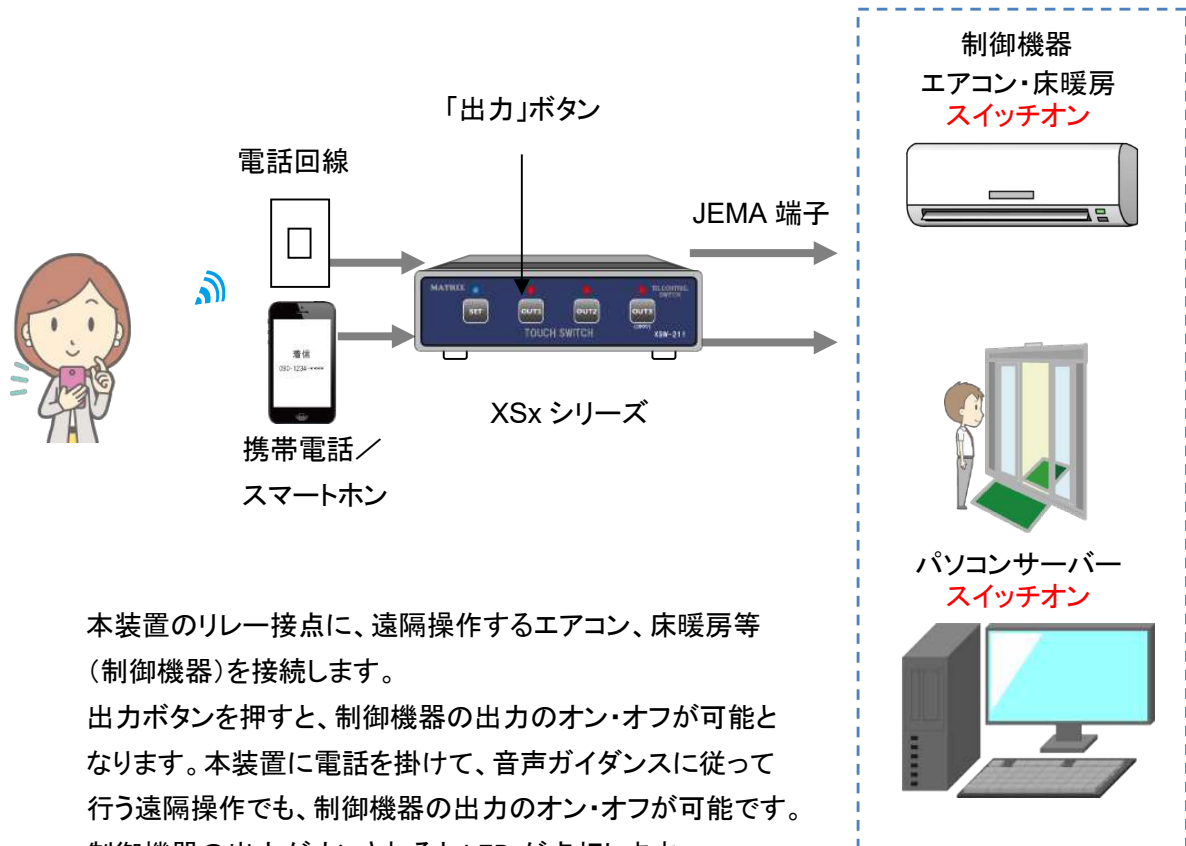
1.	主な特徴	4
2.	型番の構成	5
3.	各部の名称	6
4.	付属品	6
5.	本体の接続	7
6.	本装置の操作	12
7.	スマートホン/携帯電話で着信する場合の設定	12
7-1.	自動着信設定（スマートホン/携帯電話の設定）	12
7-2.	音量設定（スマートホン/携帯電話の設定）	12
7-3.	操作方法	13
8.	遠隔操作方法	14
9.	制御機器の出力を制御する（遠隔操作）	15
9-1.	制御機器の状態を確認する	15
9-2.	制御機器の出力をオフする	15
9-3.	制御機器の出力をオンする	16
9-4.	解錠番号を使って制御機器の出力をオンする	16
10.	装置の詳細設定（遠隔操作）	17
10-1.	パスワードの設定	17
10-2.	呼び出し時間の設定	18
10-3.	リトライ呼び出し機能の設定	18
10-4.	ラインモニタ機能の設定	19
10-5.	出力オン後に自動的にオフする設定	19
10-6.	出力オフ後に自動的にオンする設定	19
10-7.	着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる設定	20
10-8.	音声ガイダンスの変更	21
10-9.	音声ガイダンス遅延時間の設定	21
10-10.	JEMA 端子の設定	21
10-11.	解錠番号の登録	22
10-12.	スマートホン/携帯電話の着信方法の変更	23
10-13.	全ての設定を初期化する	24
11.	本装置の「TEL」に接続した電話機を使って直接設定する	24
12.	サービスコード一覧	25
12-1.	制御項目一覧	25
12-2.	設定項目一覧	26
13.	電話機を併設する場合の設定	28
14.	FAX や留守番電話を併設する場合の設定	28
15.	着信用スマートホン/携帯電話での制御	29
15-1.	便利な機能	29
15-2.	注意点	29
16.	JEMA 機能	31
17.	リレー接点出力とセンサ入力の回路	32
A.	リレー接点出力	32
B.	センサ入力	33
C.	USB 連動タップ用出力について	34

18. 仕様一覧.....	35
19. 使用上の注意.....	35

1. 主な特徴

テレコントロールスイッチ XSW シリーズは、本装置に接続したエアコンや床暖房などの制御機器を、電話回線を通して遠隔操作できるスイッチです。

この取扱説明書においては、「テレコントロールスイッチ XSW シリーズ」を「本装置」、エアコン、床暖房、電気錠、自動ドア等を「制御機器」と表記しています。あらかじめご了承ください。



本装置のリレー接点に、遠隔操作するエアコン、床暖房等（制御機器）を接続します。

出力ボタンを押すと、制御機器の出力のオン・オフが可能となります。本装置に電話を掛けて、音声ガイダンスに従って行う遠隔操作でも、制御機器の出力のオン・オフが可能です。制御機器の出力がオンされるとLEDが点灯します。

3つのリレーにより、3系統のオン・オフ制御が可能です。リレー1はOUT1、リレー2はOUT2、リレー3はOUT3のAとBの制御を行います。OUT3のBは、USB連動タップのオン・オフ制御に使用することができます。

- 本装置を遠隔操作するには、電話回線が必要となります。
電話機やFAXと併設できますので、既に電話回線が引かれている場合は、新たに電話回線を準備する必要はありません。
電話回線の代わりに、本装置に着信用のスマートホン/携帯電話を接続して制御することもできます。
- JEMA端子(HA端子)を有する機器を制御することができます。
リレー1接点出力(OUT1)とセンサ入力(IN)を使用してJEMA機器を制御します。
- 遠隔操作で、制御機器の状態を確認することができます。(センサ入力に接続している機器のみ対応)

- 本装置の電源が切れても、制御機器の出力のオン・オフの状態を記憶しています。再起動すると、自動的に本装置の電源が切れた時の状態に戻ります。
(JEMA 端子は未対応)

2. 型番の構成

XSW シリーズは、対応している機能によって型番が異なります。

➤ テレコントロール機能< 型番:XSW-211 >

リレー接点 on/off による制御が2系統、USB 連動タップ制御が1系統可能です。
リレー接点出力の詳細は、「17 . リレー接点出力」のページを参照ください。

➤ スマートホン/携帯電話での着信機能< 型番:XSW-211-HP>

電話回線が準備できない場合など、スマートホン/携帯電話で着信することができます。
(XSW-211-HP は、下記の -HP1 の設定にて出荷致します。)

本説明書の「スマートホン/携帯電話で着信する場合」の説明を参照ください。

- XSW-211-HP1 スマートホン接続タイプ(イヤホンジャックが CTIA タイプ)
- XSW-211-HP2 スマートホン接続タイプ(イヤホンジャックが OMTP タイプ)
- XSW-211-HP3 携帯電話接続タイプ

(HP3 は、使用できる携帯端末の入手が困難な状況となっています)

➤ 受付電話機能< 型番:XSL-100 >

本装置に受付電話機と、自動ドアまたは電気錠を接続し、受付電話機で訪問先の内線電話番号をダイヤルして通話が可能です。

通話中に、訪問先の電話機で[*]が押されると、本装置が感知して自動ドア・電気錠が解錠します。

➤ マンション用解錠機能< 型番:XSR-100 >

本装置に受付電話機と、自動ドアまたは電気錠を接続し、受付電話機で訪問先の室番号が押されると、室番号毎に登録された電話番号にダイヤルして通話します。

通話中に、訪問先の電話機で[*]が押されると自動ドア・電気錠が解錠します。

➤ 型番説明

<型番 XSV-□△○◇ >

▽ : 機能 (W:リレー動作、L:受付電話機能、R:マンション用解錠機能)

□ : リレー出力数

△ : USB 連動タップ用出力の有無(0:無、1:有)

○ : センサ入力の有無(0:無、1:有)

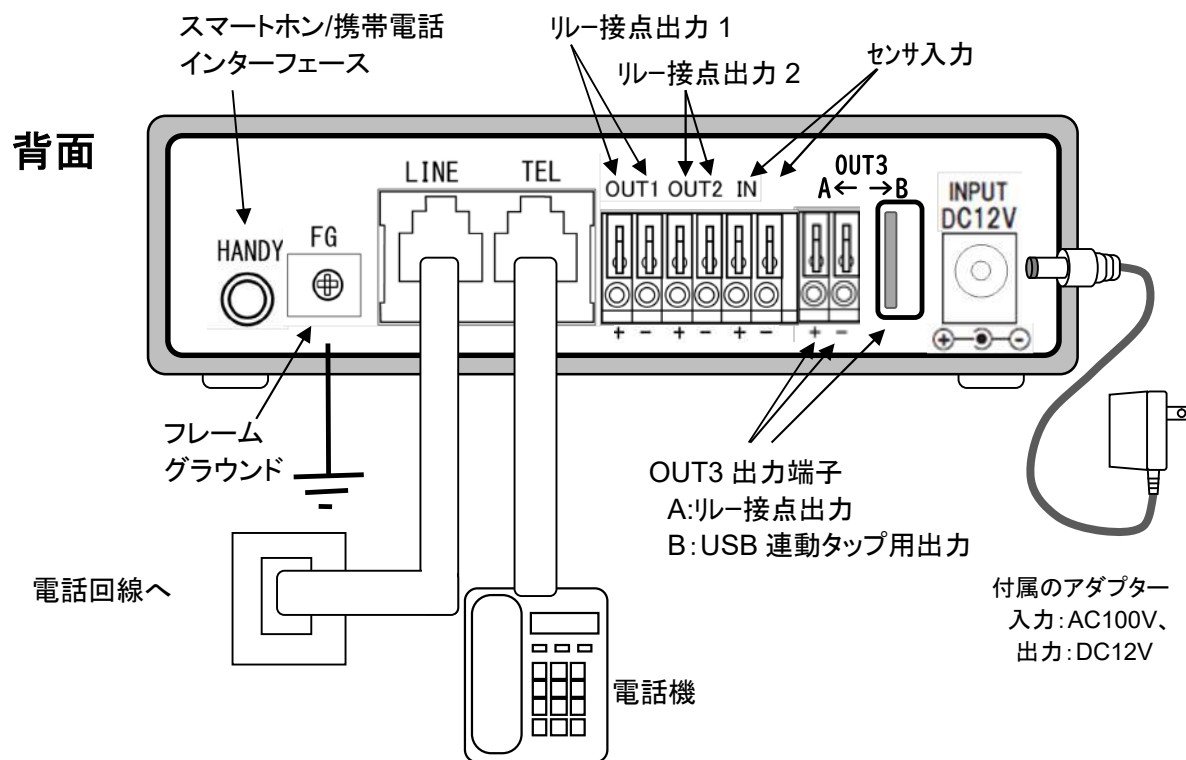
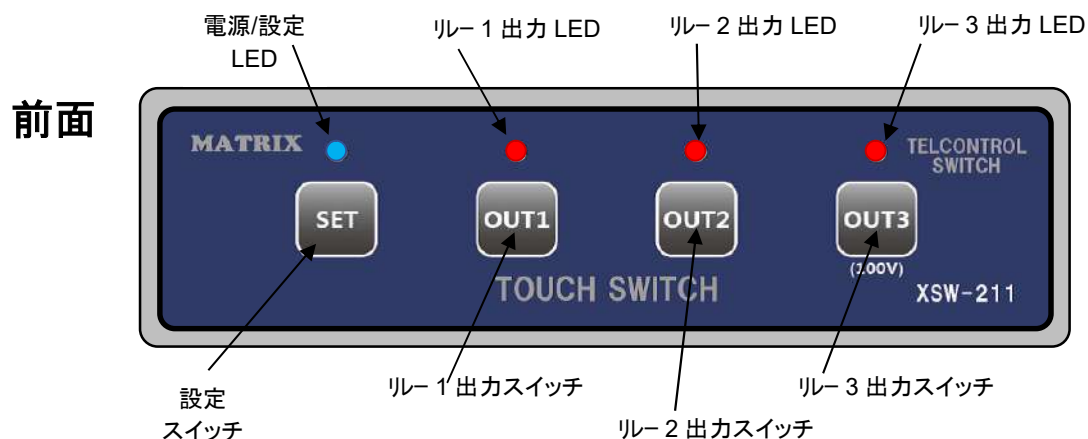
◇ : 回線種別 (無 : 固定電話回線、

HP1:スマートホン 3.5mm 4極 CTIA ジャック

HP2:スマートホン 3.5mm 4極 OMTP ジャック

HP3:従来の携帯電話ジャック

3. 各部の名称

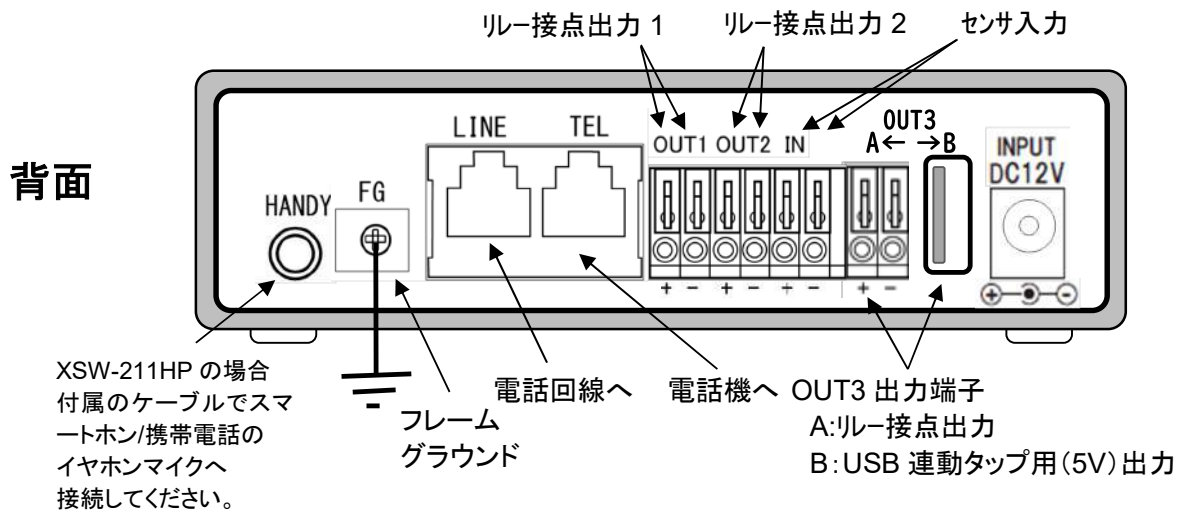


4. 付属品

付属品としては以下のものが同梱されています。ご確認ください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| ・ 装置本体 | 1台 |
| ・ ACアダプター | 1台 |
| ・ モジュラケーブル | 1本 |
| ・ スマホ/携帯イヤホンマイク接続用ケーブル | 1本 (XSW-211HPのみ) |
| ・ 取扱説明書 | 1冊(本誌) |

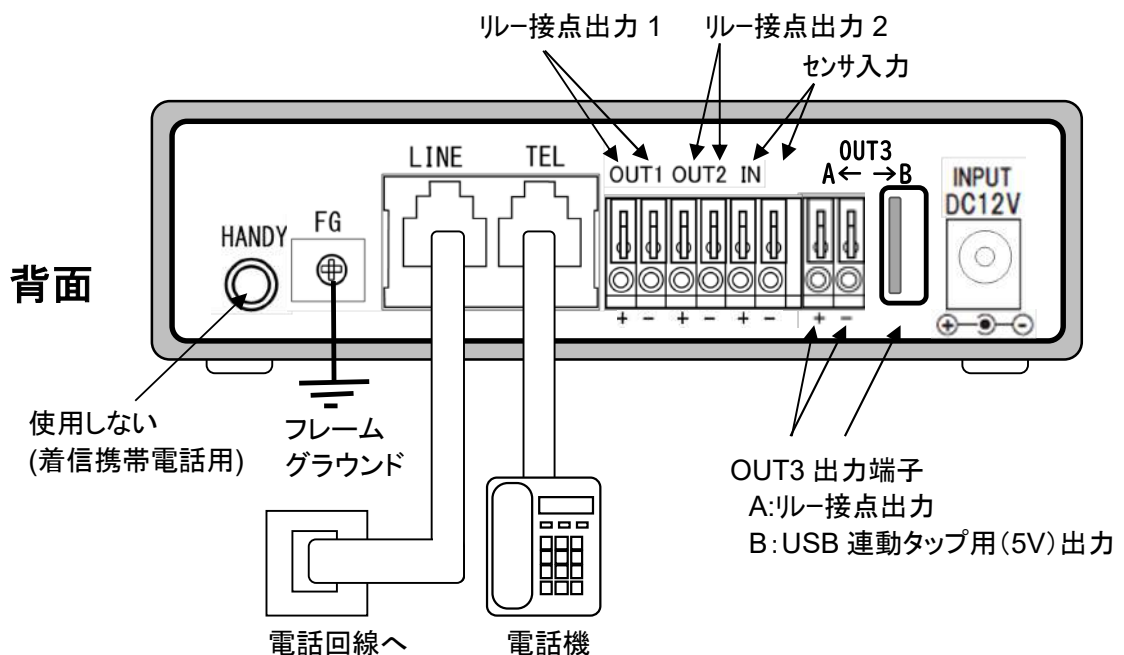
5. 本体の接続



- ① FG(フレームグラウンド)は大地に対して低い抵抗で接地してください。
- ② 電話回線あるいは着信用スマートフォン/携帯電話を接続してください。電話回線へ接続して着信する場合と、着信用スマートフォン/携帯電話へ接続して着信する場合では接続方法が異なります。②-1、②-2を参照
- ③ 制御機器の接続を行ってください。
- ④ 最後に、本装置の電源を入れてください。

<②-1 電話回線へ接続する場合>

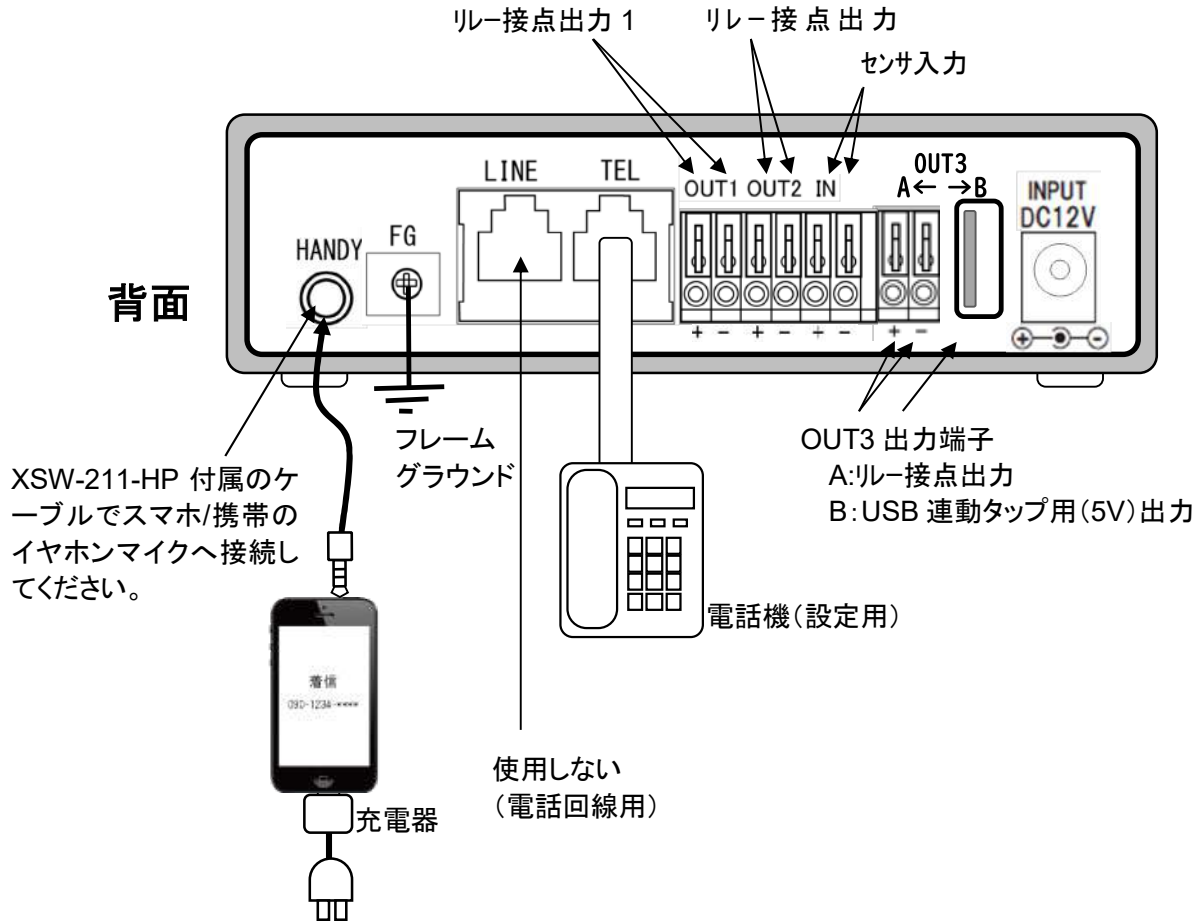
図のように電話回線からのモジュラーケーブルを「LINE」のジャックに入れ、電話器等からのモジュラーケーブルを「TEL」のジャックに接続します。F.G.(フレームグラウンド)は大地に対して低い抵抗で接地してください。最後に本体の電源をいれます。



＜②-2 着信用スマートホン/携帯電話へ接続する場合＞

イヤホンマイク接続用ケーブルを、片方は本装置の HANDY PHONE のコネクタに接続し、もう片方はスマートホン/携帯電話のイヤホンマイク用コネクタに接続してください。

自動着信可能なスマートホン/携帯電話を使用して下さい。



使用するスマートホン/携帯電話により接続ケーブルが異なります。

また、本体内の SW5 の設定も下記に合わせて変更してください。

＜スマホ/携帯のタイプ＞	＜接続ケーブル＞	＜SW5 設定＞
スマートホン(CTIA)	4極-4極ケーブル(汎用品で可)	3,4,5 をショート (初期設定)
スマートホン(OMTP)	4極-4極ケーブル(汎用品で可)	2,4,6 をショート
携帯電話	3極(XSW211 側)の専用ケーブル	1,4,6 をショート

※イヤホンジャックの CTIA タイプと OMTP タイプでは、4 極の信号の並びが異なりますので、御注意ください。

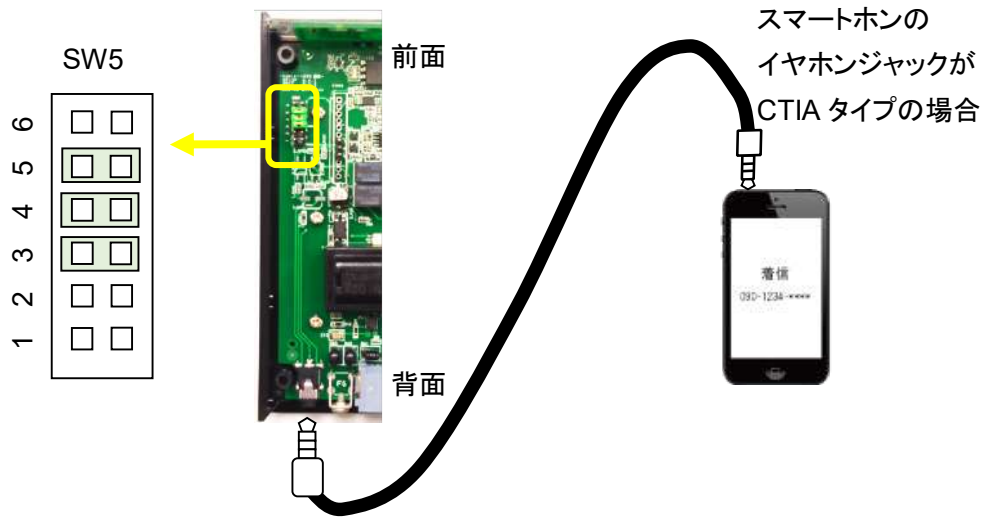
※携帯電話用3極の専用ケーブルが必要な場合は、弊社まで御問合せ下さい。

※スマートホン/携帯電話と本装置はなるべく離してください。電波が装置に飛び込み、ノイズや誤動作の原因になることがあります。

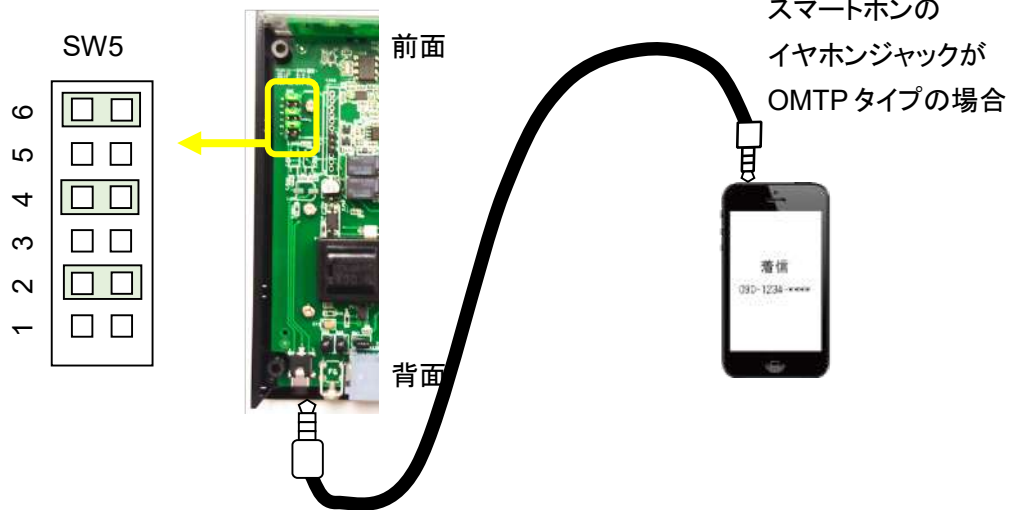
※使用する携帯電話について、「15-2.注意点」をご確認ください。

設定例:

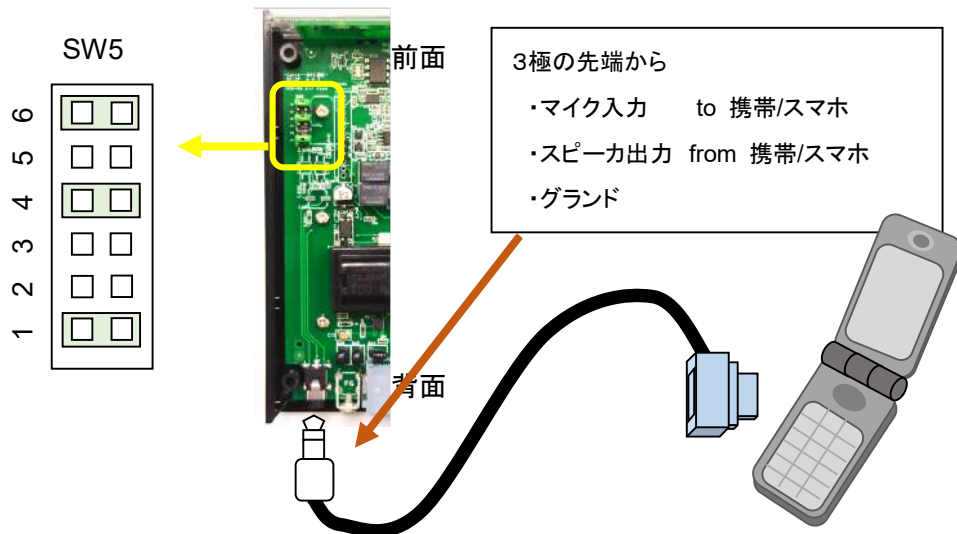
■スマートホンのイヤホンジャックが CTIA タイプの場合 (初期設定、多くの場合はこちら)



■スマートホンのイヤホンジャックが OMTP タイプの場合



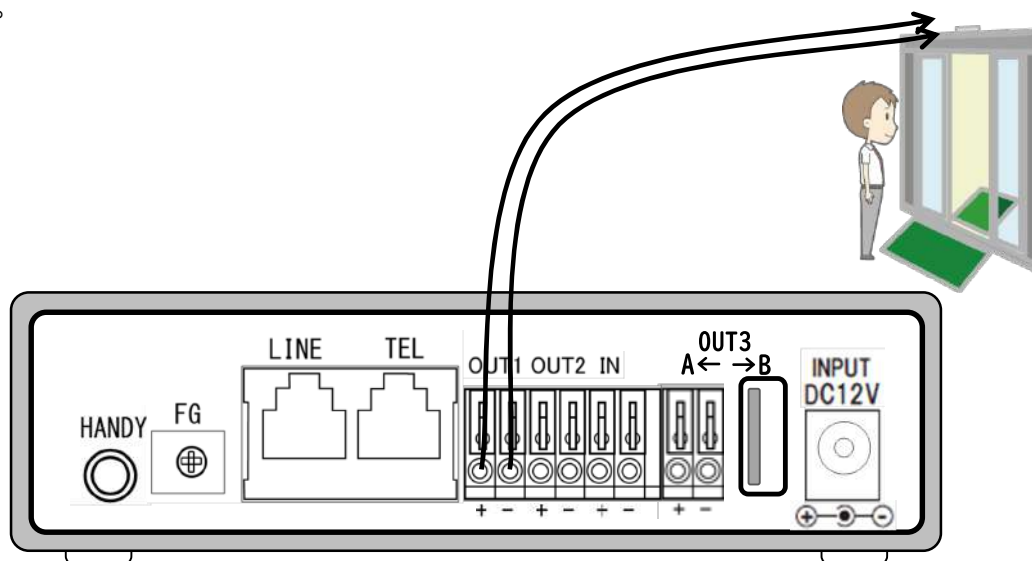
■専用の3極ケーブルの場合



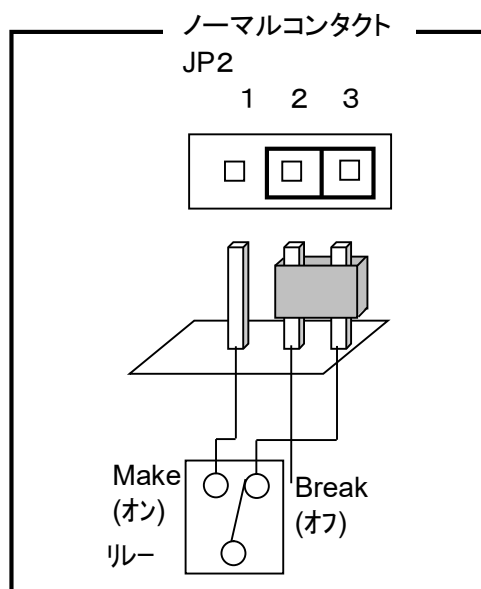
<③制御機器の接続>

③-1 制御機器を、本装置のリレー接点出力に接続します。リレー接点出力の最大定格は24V 1Aです。

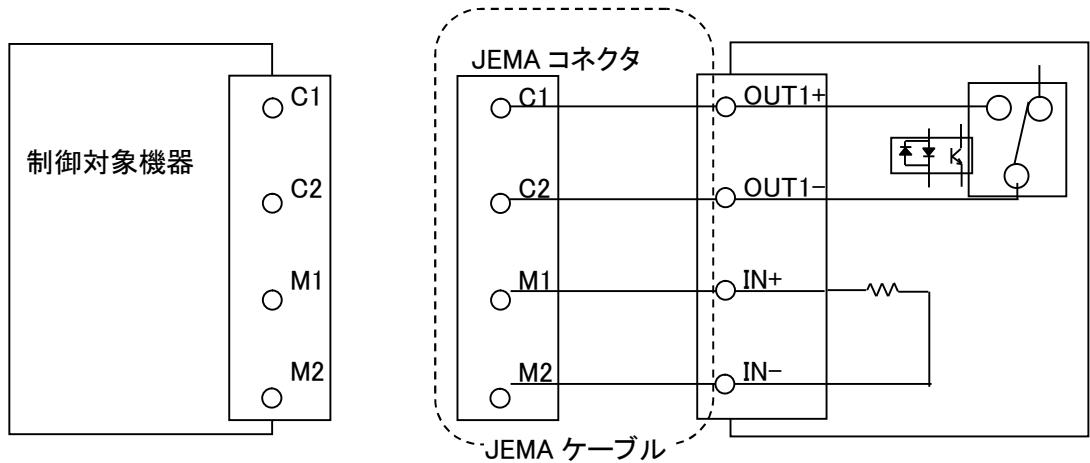
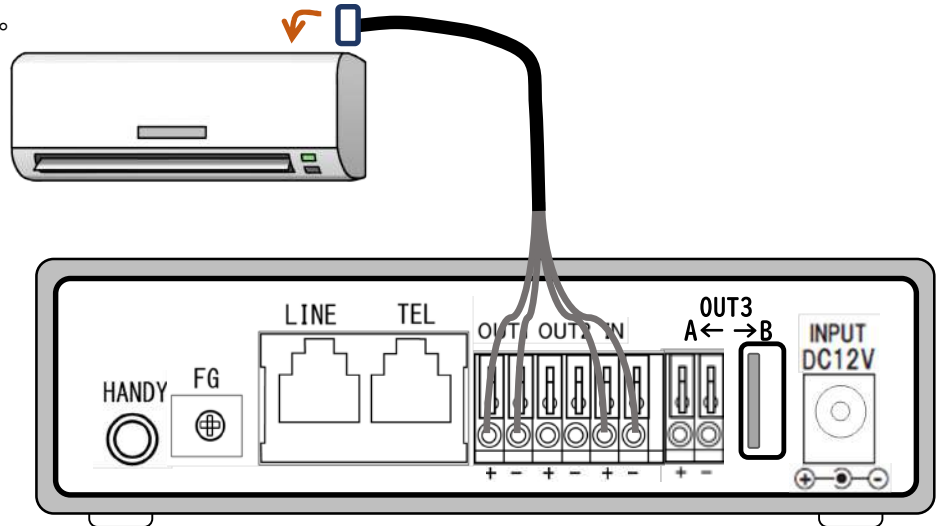
「OUT1+」と「OUT1-」が A 接点(ドライ接点)です。「OUT2+」と「OUT2-」の組も同様に使用できます。



OUT1+/-は、ノーマルオープンとノーマルコンタクトを本体内部の JP2 により切り替えることができます。(ノーマルオープン:①②をショート(出荷時)。ノーマルコンタクト:②③をショート) 切替えは、電源 off の状態で行ってください。OUT2+/-は、ノーマルオープン固定です。

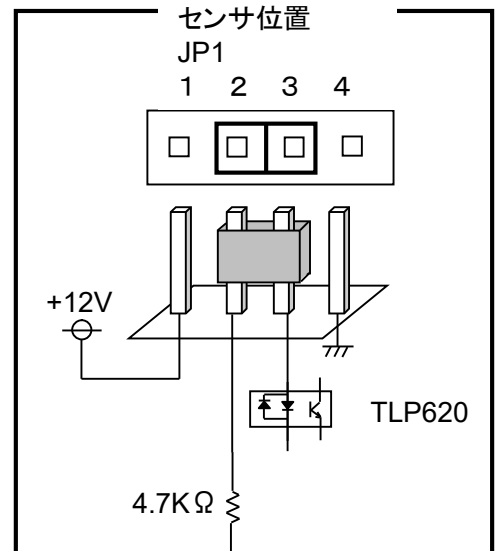


③-2 JEMA 端子を有する制御機器の場合は、JEMA 接続用ケーブルで、本装置の OUT1+/-と IN+/-に接続します。



OUT1 の出力はノーマルオープン (JP2①②ショート) とします。
 センサ入力は、極性なし (JP1②③ショート) とします。

③-3 OUT3 の B の USB 連動タップ用出力は、オン時 5V、
 オフ時オープンとなります。
 USB 連動タップの仕様を御確認の上で、接続してください。
 OUT3 の A はリレー接点出力です。
 OUT3 の A と B は連動して動作します。

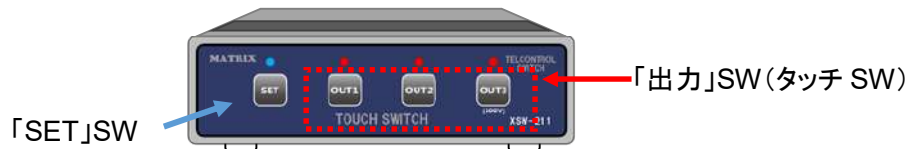


<④電源投入>

固定回線接続で電話機を併設する場合は、「TEL」に
 併設電話機をモジュラーケーブルで接続します。
 最後に本装置の電源を入れます。

6. 本装置の操作

本装置が動作中は、「SET」SW 上の LED が点灯します。
遠隔操作中は点滅します。

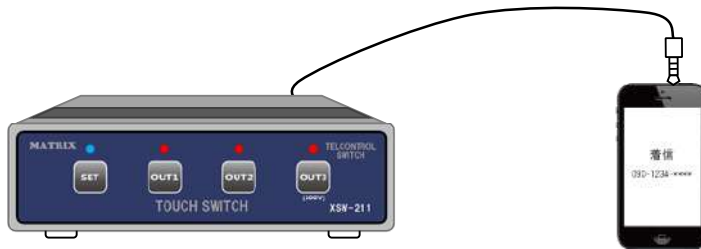


制御機器の出力をオンするには、制御機器が接続されている「出力」ボタンを軽くタッチします。
出力オンされると「出力」SW 上の LED が点灯します。
(OUT1 を JEMA 設定で使用の場合は、モニター信号がオンの時 LED が点灯します。)
再度「出力」ボタンにタッチすると出力オフします。
出力オフされると「出力」SW 上の LED が消灯します。

尚、遠隔操作で出力オン・オフする場合は、「8.遠隔操作方法」を参照して操作して下さい。

※本装置を再起動した場合は、再起動前の制御機器の出力オン・オフ状態に戻ります。
(JEMA 端子は戻りません)

7. スマートホン/携帯電話で着信する場合の設定



本装置とスマートホン/携帯電話を接続して遠隔操作する場合は、スマートホン/携帯電話の自動着信機能を使用して通話できるようにします。

7-1. 自動着信設定 (スマートホン/携帯電話の設定)

自動着信機能は、スマートホン/携帯電話のイヤホンマイク用コネクタにケーブルを接続して、自動的に着信に応答する機能で、スマートホン/携帯電話側での設定が必要になります。
スマートホン/携帯電話の端末によって設定方法は異なりますので、各端末の取扱説明書をご覧ください。

7-2. 音量設定 (スマートホン/携帯電話の設定)

イヤホンマイクからの音量が過大・過小であると正常に動作できないことがあります。
着信音量は中間程度にしてください。

7-3. 操作方法

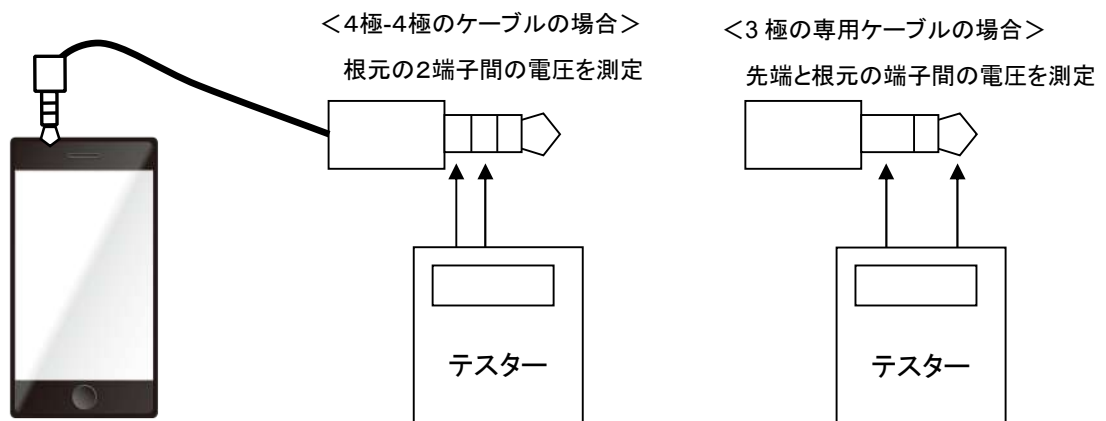
スマートホン/携帯の電話番号に電話します。装置が自動応答して「パスワードをどうぞ」という音声ガイダンスが聞こえたら、後は電話回線経由の制御と同じですので電話回線経由からの制御を参照していただき制御を行ってください。

注意:

- ・au の3G 携帯の場合、トーン信号が通りにくいことがあります。
- この場合1, 2, 3, 4, 5, 6は通りづらく、7, 8, 9, 0, *, #は通りやすいのでパスワードは7, 8, 9, 0を使用して番号を設定してください。
- また操作は1を*に置き換えて操作してください。たとえば OUT1 オンであれば 9 * #となります。

◆ スマートホン/携帯に着信ができない場合

本装置は、イヤホンマイクの中のマイクへの電圧を監視して、着信を感知しています。多くのスマートホン/携帯では着信時にマイクへ電圧を供給しますが、そうでないものもあります。図のようにイヤホンマイクからのケーブルの先のミニジャックの先端と付け根の部分の電圧をテスターで見ると OK の場合は待機時0V、着信時2.5V 程度になります。



一部機種では常にこのマイク端子に電圧が出ている機種や、着信時の電圧が出ないか低い機種もあります。このような場合は、スマートホン/携帯着信方法の変更を行うか、端末の機種変更が必要になります。スマートホン/携帯着信方法の変更は、10-12 を参照下さい。

◆ 発信、受信が同じ携帯電話会社の場合

発信側、着信側とも同じ携帯電話会社の場合、発信側からトーン信号が出ないことがあります。これは通信網が、同じ携帯電話会社同士の場合トーン信号は不要と識別しているためです。

したがって、この場合は

- ・通常の通話モードで無く、発信側は OCN 電話や楽天電話などのサービスを用いください。
- または
- ・発信側、着信側とも同じ携帯電話会社という組み合わせは避け、着信側を別の通信会社の電話にするなどしてトーン信号が出るようにしてください。

8. 遠隔操作方法

本装置の遠隔操作は、本装置に電話をかけて音声ガイダンスに従って操作します。



※本装置は、電話機のトーン信号(ダイヤルをする毎にピッポッパツのような音がして信号を伝えます)を感知して操作します。

パルス式電話機の場合は[*]を押してトーン信号がでるように切り替えてから操作して下さい。

下記の手順で行って下さい。

- ① 本装置が接続されている電話回線に電話をかけます。
- ② 着信すると「パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。

[パスワード][#]を押します。

パスワードの初期設定は「7890」に設定されています。

したがって「7890#」を押します。

パスワードが正しい場合は「ピー」という音が鳴ります

パスワードが間違っている場合は「ブー」という音になり、「もう一度パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れ、再度パスワードを入力する事ができます。

3回間違えると電話が切れます。

10秒以上何も入力を行わないと「ブー」という警告音とともに電話が切れます。

- ③ 正しいパスワードを入力すると「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
- ④ 本装置を遠隔操作するには、操作毎に決められたサービスコードを入力して行います。接続している機器の出力を制御する場合は、「9.制御機器の出力を制御する」を参照して、操作して下さい。

本装置の動作環境の設定を変更する場合は、「11.設定方法」を参照して操作して下さい。

- ⑤ 各操作が完了すると、再び「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。操作が完了した場合は、電話を切して下さい。

続けて操作する事も可能です。

※電話を切った後に、再び遠隔操作を開始する場合は、1分程度待ってから電話を掛けて下さい。

9. 制御機器の出力を制御する(遠隔操作)

本装置で制御しているエアコン、電気錠などの出力の状態の確認、出力オン・オフを遠隔操作で行います。

この操作は、「8.遠隔操作方法」を参照して、「サービスコードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れてから操作して下さい。

9-1. 制御機器の状態を確認する

制御機器への出力状態を確認する事ができます。

サービスコード : [6][リレー番号][#]

[リレー番号] : 「1」は OUT1 の出力設定状態を確認

「2」は OUT2 の出力設定状態を確認

「3」は OUT3 出力の設定状態を確認

「4」は、IN センサの入力状態を確認

型番により使用できない番号があります。

・OUT1+/-と IN+/-を JEMA 機能として使用の場合は、[6][4][#]で機器の動作状態を確認することができます。モニター信号は、スタティック信号に対応します。(17.JEMA 機能を参照)。

また、前面パネルの OUT1 の LED はモニター信号に連動して動作します。

・OUT1 は本装置内部の JP2 の設定で出力の状態が反転する場合があります(図 8-2 参照)。

例: 「6」「1」「#」 OUT1 がオンの時:「リレー1・オン」の音声ガイダンスが流れます。

OUT1 がオフの時:「リレー1・オフ」の音声ガイダンスが流れます。

9-2. 制御機器の出力をオフする

制御機器の出力をオフすることができます。

サービスコード : [8][リレー番号][#]

[リレー番号] : 「1」は OUT1、「2」は OUT2、「3」は OUT3 をオフします。

また、全ての制御機器の出力をオフすることができます。

サービスコード : [80][#]

OUT3

設定完了後に、「リレーオフしました」の音声ガイダンスが流れます。(設定により音声ガイダンスが変更されている場合があります。)

制御機器が JEMA 端子で OUT1+/-、IN+/-に接続の場合は、機器の状態を「6」「4」「#」で確認する事ができます。(「9-1.制御機器の状態を確認する」を参照)

9-3. 制御機器の出力をオンする

制御機器の出力をオンすることができます。

サービスコード : [9][リレー番号][#]

[リレー番号] : 「1」は OUT1、「2」は OUT2、「3」は OUT3 をオンします。

また、全ての制御機器の出力をオンすることができます。

サービスコード : [90][#]

設定完了後に、「リレーオンしました」の音声ガイダンスが流れます。(※設定により音声ガイダンスが変更されている場合があります。)

制御機器が JEMA 端子で OUT1+/-、IN+/- に接続の場合は、電源の状態を「6」「4」「#」で確認する事ができます。(「9-1.制御機器の状態を確認する」を参照)

9-4. 解錠番号を使って制御機器の出力をオンする

解錠番号を使って制御機器の出力をオンする事ができます。(OUT1 に接続された制御機器のみ)

自動ドアや電気錠を遠隔操作で解錠する場合の機能で、パスワードを入力せずに解錠する事が出来ます。(自動ドアや電気錠を OUT1 に接続して制御する場合は、OUT1 をオンさせた後、一定時間後に自動的にオフする設定を行う必要があります。10-5 の項を参照ください。)

解錠番号はオンライン設定で操作を行い設定することができ、3 個まで登録可能です。

お引渡し時に、設定してお渡しすることも可能です。

解錠番号には 4 桁の数字を登録しますが、「パスワードと同じ番号」及び「0000」を登録する事はできません。

解錠するには、下記の手順で行って下さい。

- ① 本装置が接続されている電話回線に電話をかけます。
- ② 着信すると「パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
- ③ 解錠番号を押した後、「#」を押すと制御機器が解錠します。

※パスワードを「9999」に設定して、パスワードの問い合わせを省いている場合は、解錠番号を使って解錠する事ができません。

解錠番号を登録する場合は、「11-12.解錠番号の登録」を参照して行って下さい。

10. 装置の詳細設定(遠隔操作)

本装置の動作環境を設定するサービスコードを記載します

この操作は、「8.遠隔操作方法」を参照して、パスワード入力後「サービスコードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れてから操作して下さい。

<遠隔地から電話をかけて設定する方法>

- ① 「8.遠隔操作方法」を参照して、本装置に電話を掛けてパスワードを入力し遠隔操作を開始します。
「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れてから、オンライン設定のサービスコードを押します。
[0000][#]
オンライン設定を開始する場合は、必ずこのサービスコード(0000#)を入力してから行います。
- ② 電話呼出し中に、本装置の「SET」ボタンを押すと、本装置が着信し、「パスワードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れます。パスワードを入力後、サービスコード(0000#)を入力するとオンライン設定が開始されます。(電話回線接続の場合のみ)

設定で変更できるのは下記の項目です。

- パスワード
- 呼び出し時間
- リトライ呼び出し機能
- ラインモニター機能
- 出力オフ後に自動的にオンするまでの時間
- 出力オン後に自動的にオフするまでの時間
- 着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる
- 音声ガイダンスの変更
- 音声ガイダンス遅延時間
- JEMA 端子の設定
- 解錠番号の登録
- 全ての設定を初期化する

電話設定が開始したら、設定内容によって、「10-1.パスワードの設定」～「10-13.全ての設定を初期化する」を参照して操作して下さい。

10-1. パスワードの設定

パスワードは「7890」が初期設定されていますが、セキュリティ上変更する事をお勧めします。

サービスコード : [01][パスワード][#]

(例)パスワードを「4567」に設定する場合

014567#

※パスワードに「9999」を設定すると、遠隔操作を開始する時のパスワードの問い合わせを省くことができます。

10-2. 呼び出し時間の設定

本装置に電話を掛けてから、自動的に応答するまでの時間を変更します。
初期設定は、6 秒に設定されています。
本装置と電話機を併設している場合に、本装置の応答を遅らせた時に設定して下さい。
併設した電話機で受話器を取る前に本装置が応答するのを防ぎます。

サービスコード : [021][呼び出し時間(秒数)][#]

[呼び出し時間(秒数)] : 1~99 秒まで設定可能

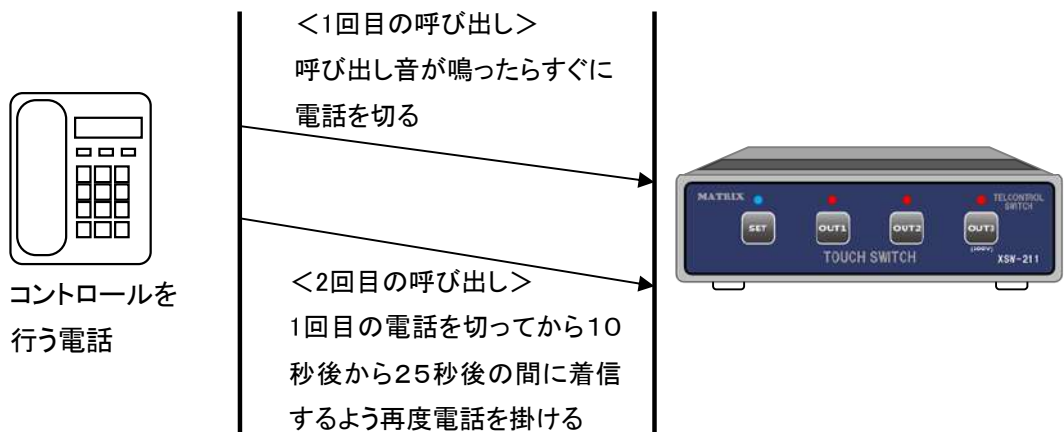
(例)呼び出し時間を 30 秒に設定する場合

02130#

10-3. リトライ呼び出し機能の設定

リトライ呼び出し機能は、本装置を電話機と併設している場合に設定します。
リトライ呼び出し機能を設定すると、通常の呼び出しでは本装置は応答しません。
電話を掛けてすぐに電話を切って、もう一度電話をかけたときに、本装置が応答し遠隔操作が可能となります。

1 回目の電話を切ってから 10 秒後から 25 秒後の間に 2 回目の着信をするように電話を掛けて下さい。



サービスコード : [02][#]

※ナンバーディスプレイサービスを行っている電話回線では使用できません。

[02][#]でリトライ呼び出し機能が有効になります。リトライ呼び出し機能を解除する場合は、呼び出し時間を設定して下さい。(「11-3.呼び出し時間の設定」を参照)

初期設定に戻す場合は 6 秒を設定します。(0216#)

10-4. ラインモニター機能の設定

ラインモニター機能は、本装置をFAXや留守番電話と併設している場合に設定します。本装置とFAXがつながっている電話番号に電話を掛けると、先にFAXが着信します。通信中、**60秒以内**に発信側電話機から「#」または「*」を長押しすると、強制的に本装置が応答する機能です。（「14.FAX や留守番電話を併設する場合の設定」を参照。）

サービスコード : [031][#]

※設定を解除する場合

サービスコード : [030][#]

10-5. 出力オン後に自動的にオフする設定

制御機器の出力をオンしてから、一定時間後に自動的に出力をオフすることができます。この機能を設定すると、出力ボタンを押すか、遠隔操作で出力オンした時に自動的に動作します。

電気錠や自動ドアを一時的に出力オンして解錠させるような場合に設定して下さい。

サービスコード : [041][リレー番号][オフまでの時間(秒数)][#]

[リレー番号] : 「1」は OUT1、「2」は OUT2、「3」は OUT3 に対応します。

[オフまでの時間(秒数)] : 1～9999 秒まで設定可能

(例)リレー番号 1 の制御機器をオンしてからオフするまでの時間を 5 秒に設定する場合

04115#

※設定を解除する場合

サービスコード : [040][リレー番号][#]

10-6. 出力オフ後に自動的にオンする設定

制御機器の出力をオフしてから、一定時間後に自動的に出力をオンすることができます。この機能を設定すると、出力ボタンを押すか、遠隔操作で出力オフした時に自動的に動作します。

パソコンの出力をオフした後に、自動的に再起動させるような場合に設定して下さい。

サービスコード : [042][リレー番号][オンまでの時間(秒数)][#]

[リレー番号] : 「1」は OUT1、「2」は OUT2、「3」は OUT3 に対応します。

[オンまでの時間(秒数)] : 1～9999 秒まで設定可能

(例)リレー番号 1 の制御機器をオフしてからオンするまでの時間を 30 秒に設定する場合

042130#

※設定を解除する場合

サービスコード : [040][リレー番号][#]

10-7. 着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる設定

本装置で着信した時に、サービスコードを入力せずに、自動的に出力オン・オフさせる事ができます。

出力オフする： [06][リレー番号][1][#]

出力オンする： [06][リレー番号][2][#]

[リレー番号]：「1」は OUT1、「2」は OUT2、「3」は OUT3 に対応します。

(例)リレー番号 1 の制御機器を自動的にオンさせる場合

0612#

※設定を解除する場合(自動的に出力オン・オフしない)

サービスコード： [06][リレー番号][0][#]

さらに、パスワードを「9999」に設定しておけば、パスワードもサービスコードも入力せず着信するだけで出力オン・オフを実行する事ができます。

パスワードを変更する場合は、「11-2.パスワードの設定」を参照して操作して下さい。

自動的に出力オン・オフした後に、電話回線を切断させる事ができます。

※着信用スマートホン/携帯電話を使用している場合は設定できません。

サービスコード： [037][#]

この設定を行った場合、電話回線を切断するまでに 10 秒程度の無音状態があります。

この無音状態の間にサービスコードを入力すれば、通常の遠隔操作も可能となります。

※設定を解除する場合(電話回線の切断をしない)

サービスコード： [038][#]

10-8. 音声ガイダンスの変更

本装置で制御機器の出力オン・オフした時に流れる音声ガイダンスを変更できます。

サービスコード : [07][リレー番号][コード][#] (リレー番号0ですべてのリレー)

↑

コード	操作	音声メッセージ
0	出力オフ	リレーオフしました
	出力オン	リレーオンしました
1	出力オフ	解錠しました
	出力オン	施錠しました
2	出力オフ	施錠しました
	出力オン	解錠しました
3	出力オフ	施錠しました
	出力オン	解錠しました
4	出力オフ	エアコンオフしました
	出力オン	エアコンオンしました

「コード」の「3」は、受付電話機能<XSL-100>、マンション用電話解錠機能<XSR-100>で有効です。

受付電話機にも音声ガイダンスが流れます。

(例)リレー番号 2 の制御機器に音声ガイダンスの「1(解錠しました・施錠しました)」を設定する場合 0721#

10-9. 音声ガイダンス遅延時間の設定

スマートホン/携帯電話の機種によっては、着信後数秒間、音声ガイダンスが聞こえない場合があります。その場合は、着信してから音声ガイダンスが始まるまでの時間を遅らせる事ができます。

サービスコード : [022][遅延時間(秒数)][#]

[遅延時間(秒数)] : 0~9 秒まで設定可能

(例)遅延時間に「8」を設定する場合 0228#

10-10. JEMA 端子の設定

OUT1 端子は、IN+/-と合わせて JEMA 端子(HA 端子)として使用する事ができます。

サービスコード : [05][リレー番号][1][#]

[リレー番号] : 「1」

OUT2+/-は、JEMA 設定することはできません。

(例)OUT1 の制御機器を JEMA 端子に設定する場合 0511#

本装置内部の JMP の設定を JP1 ②③ショート、JP2 ①②ショートとしてください。

(17.リレー接点出力とセンサ入力の回路のページを参照)

※JEMA 端子モードを解除する場合

サービスコード : [05][1][0][#]

10-11. 解錠番号の登録

解錠番号を使って制御機器の出力をオンする事ができます。(リレー接点 1 に接続された制御機器のみ)

自動ドアや電気錠を遠隔操作で解錠する場合の機能で、パスワードを入力せずに解錠する事が出来ます。

解錠番号は最大 3 個まで登録可能です。4 桁の数字を登録します。

「パスワードと同じ番号」及び「0000」は無効となるので登録しないでください。また、設定した解錠番号を取り消すときに「0000」を入力してください。

<解錠番号 1 個目の登録>

- ① 1、2 桁目の設定

サービスコード : [008050][解錠番号 1、2 桁目][#]

- ② 3、4 桁目の設定

サービスコード : [008060][解錠番号 3、4 桁目][#]

(例) 解錠番号を「1234」にする場合

00805012#

00806034#

<解錠番号 2 個目の登録>

- ③ 1、2 桁目の設定

サービスコード : [008100][解錠番号 1、2 桁目][#]

- ④ 3、4 桁目の設定

サービスコード : [008110][解錠番号 3、4 桁目][#]

(例) 解錠番号を「0001」にする場合

00810000#

00811001#

<解錠番号 3 個目の登録>

- ⑤ 1、2 桁目の設定

サービスコード : [008120][解錠番号 1、2 桁目][#]

- ⑥ 3、4 桁目の設定

サービスコード : [008130][解錠番号 3、4 桁目][#]

(例) 解錠番号を「1020」にする場合

00812010#

00813020#

10-12. スマートホン/携帯電話の着信方法の変更

着信用スマートホン/携帯電話を使用する場合、使用するスマートホン/携帯電話にあわせて、本装置が着信を検出する方法とスマートホン/携帯電話が通話開始する方法の設定を行います。

■着信検出方法の選択

工場出荷状態では、イヤホンマイクのマイク端子電圧 [09][0][#] が設定されています。

サービスコード：[09][0][#] 初期設定

スマートホン/携帯電話が着信し、呼出音を出している時にイヤホンマイクのマイク端子に電圧が現れると本装置が動作を開始し、「パスワードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れます。

注意：常に電圧が出ている携帯電話では、正しく動作しません。

サービスコード：[09][1][#]

スマートホン/携帯電話が自動応答機能により着信し通話状態になった後、発信側で「*」を押すと、そのトーンを検出して本装置が動作を開始し、「パスワードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れます。

サービスコード：[09][2][#]

スマートホン/携帯電話の呼出音が、設定された呼出し時間以上継続すると、「パスワードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れます。呼出し時間設定は、「11-3 呼出し時間の設定を参照」

携帯電話の呼出音は、途切れない音に設定してください。

■通話開始方法の選択

- ・スマートホン/携帯電話の自動応答機能を使用する

自動応答の時間設定は、本装置の呼出し時間設定より長く設定してください。

(「11-3 呼出し時間の設定を参照」)

スマートホン/携帯電話の機種によって設定方法は異なりますので、各端末の取扱説明書をご覧ください。

- ・本装置の通話開始機能を使用する。

(スマートホン/携帯の機種により機能しないものがあります)

サービスコード：[09][3][#] (解除は[09][4][#])

設定例1：スマートホン/携帯電話の自動応答を使用する

スマートホン/携帯電話の自動着信時間：7 秒に設定(スマートホン/携帯電話の設定)

092# ... スマートホン/携帯の呼出音を検出する。

0216# ... 本装置の呼出し時間設定を 6 秒に設定(初期設定されています)

0222# ... ガイダンス遅延を 2 秒に設定

動作：呼出し音 3 回(6 秒)で本装置が着信検出、7 秒目に携帯が着信(通話開始)、8 秒目にガイダンス(パスワードをどうぞ)が聞こえる。

設定例2：スマートホン/携帯電話の自動着信機能無し(設定できない場合)

092# ... スマートホン/携帯の呼出音を検出する。

0216# ... 本装置の呼出し時間設定を 6 秒に設定(初期設定されています)

- 0222# … ガイダンス遅延を2秒に設定
 093# … 通話開始を本装置から行う
 動作 : 呼出し音3回(6秒)で本装置が着信検出し、携帯を着信させる。
 8秒目にガイダンス(パスワードをどうぞ)が聞こえる。

10-13. 全ての設定を初期化する

本装置のオンライン設定の内容を全て初期化する事ができます。
 設定内容を間違えて変更した為に、本装置の動作が不安定になった場合などに行って下さい。

※正しく設定されている項目も全て初期化されます。

サービスコード : [0098765] [#]

制御機器が JEMA 端子を使用している場合は、初期化後に追加でサービスコードを設定する必要があります。

「12-11.JEMA 端子の設定」を参照して設定して下さい。

下記の型番は、初期化後に追加でサービスコードを設定する必要があります。

- 受付電話機能<型番:XSL-100>
 「XSL-100 取扱説明書」の「受付電話機能の初期設定」を参照して設定して下さい。
- マンション用オートロック電話解錠機能<型番:XSR-100>
 「XSR-100 取扱説明書」の「マンション用解錠機能の初期設定」を参照して設定して下さい。
設定を初期化すると、登録されている室番号・電話番号も消去されます。ご注意ください。

11. 本装置の「TEL」に接続した電話機を使って直接設定する

遠隔操作の他に、「TEL」に接続した電話機を使って直接設定することができます。

<本装置の「SET」ボタンを押して設定する方法>

- (ア) 本装置の TEL に電話器を接続します。
- (イ) 電話器の受話器を上げ、本装置の「SET」ボタンを押すと、本装置が動作し、「ピー」という音と「サービスコードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れオンライン設定が開始されます。

サービスコードは、遠隔操作の場合と同じです。

設定内容によって、サービスコードを入力し、設定を行うことができます。

12. サービスコード一覧

遠隔操作で入力するサービスコードの一覧を下記に表示します。

尚、サービスコードで[リレー番号]を入力する場合は、型番によって入力する番号が変わります。

型番により、[リレー番号]に使用できる番号が変わります。

12-1. 制御項目一覧

詳細については、「9.制御機器の出力を制御する」を参照して下さい。

制御項目	サービスコード	内容
パスワードの入力	[パスワード][#]	初期値:7890#
制御機器の出力の状態確認	[6][リレー番号][#]	出力の状態により音声ガイダンスが流れます。 出力オンの時:「リレー1・オン」 出力オフの時:「リレー1・オフ」
制御機器の出力をオフする	[8][リレー番号][#]	指定のリレーをオフする
全ての制御機器の出力をオフする	[80][#]	
制御機器の出力をオンする	[9][リレー番号][#]	指定のリレーをオンする
全ての制御機器の出力をオンする	[90][#]	
解錠番号の入力	[解錠番号][#]	パスワードの入力無しで制御機器の出力をオンする(リレー接点出力1に接続されている制御機器のみ)

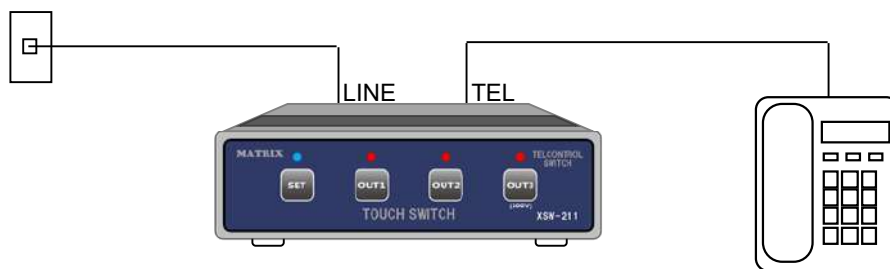
12-2. 設定項目一覧

詳細については、「11.設定方法」を参照して下さい。

設定項目	サービスコード	内容
オンライン設定開始	[0000][#]	下記の設定を可能にする。
パスワードの設定	[01][パスワード][#]	初期値:7890 設定可能範囲:1~9999 パスワードに 9999 を設定した場合は、遠隔操作開始時のパスワードの問い合わせを省略できます。
呼び出し時間の設定	[021][呼び出し時間][#]	初期値:6秒 設定可能範囲:1~99秒
リトライ呼び出し機能の設定	[02][#]	リトライ呼び出し解除:[呼び出し時間の設定]を行うとリトライ呼び出しは解除となります。
ラインモニター機能の設定	[031][#]	解除:[030][#]
出力オン後に自動的にオフするまでの時間を設定	[041][リレー番号][オフまでの時間][#]	[オフまでの時間]:秒数 解除:[040][リレー番号][#]
出力オフ後に自動的にオンするまでの時間を設定	[042][リレー番号][オンまでの時間][#]	[オンまでの時間]:秒数 解除:[040][リレー番号][#]
着信した時に自動的に出力オン・オフさせる設定	[06][リレー番号][コード][#]	[コード]設定値
		0 自動的に出力オン・オフしない(初期値)
		1 自動的に出力オフする
2 自動的に出力オンする		
自動的に出力オン・オフした後に電話回線を切断する	[037][#]	
自動的に出力オン・オフした後に電話回線を切断しない	[038][#]	
音声ガイダンスの変更	[07][リレー番号][コード][#]	[リレー番号]:0で全てのリレー
		[コード]設定値
		0 リレーオン・オフしました(初期値)
		1 解錠・施錠しました
		2 施錠・解錠しました
3 施錠・解錠しました (受付電話機能<XSW-211LOCK>及びマンション用解錠機能<XSW-211ROOM>に対応)		
4 エアコンオン・オフしました		

設定項目	サービスコード	内容
音声ガイド遅延時間	[022][遅延時間(秒数)] [#]	初期値:0 秒 設定可能範囲:0~9 秒
JEMA端子モード設定	[05][リレー番号][コード] [#]	リレー番号:1
		[コード]設定値
		0 通常 1 JEMA 端子モード
解錠番号①の登録	[008050] [解錠番号①1、2桁目] 「#」	
	[008060] [解錠番号①3、4桁目] 「#」	
解錠番号②の登録	[008100] [解錠番号②1、2桁目] 「#」	
	[008110] [解錠番号②3、4桁目] 「#」	
解錠番号③の登録	[008120] [解錠番号③1、2桁目] 「#」	
	[008130] [解錠番号③3、4桁目] 「#」	
携带着信方法の選択	「09」「0」「#」	携帯のマイク端子電圧で動作開始
	「09」「1」「#」	トーン「*」で動作開始
	「09」「2」「#」	呼出音(連続)で動作開始
全ての設定を初期化する	[0098765][#]	

13. 電話機を併設する場合の設定



初期設定では、電話を掛けてから本装置が自動的に応答するまでの時間が6秒に設定されています。

その為、電話機で通話したい場合も、6秒以内に受話器を取らなければ本装置が応答してしまう為、呼び出し時間を長くする必要があります。

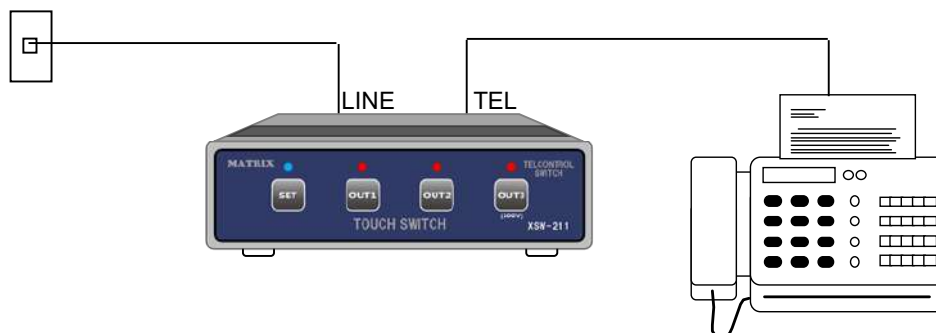
呼び出し時間を変更する場合は、「10-2.呼び出し時間の設定」を参照して、呼び出し時間を変更してください。

また、通常の呼び出しでは本装置が応答せず、電話を掛けてすぐに電話を切ってもう一度電話をかけた時にだけ本装置が着信する、リトライ呼び出し機能も用意されています。

※ナンバーディスプレイサービスを行っている電話回線では使用できません。

リトライ呼び出し機能は、「10-3.リトライ呼び出し機能の設定」を参照して、設定してください。

14. FAX や留守番電話を併設する場合の設定



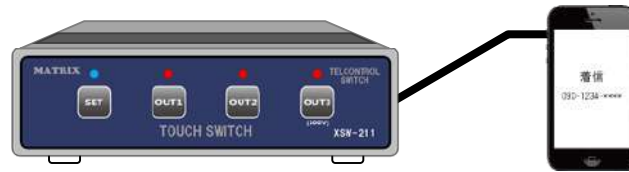
初期設定では、併設したFAXや留守番電話が本装置より先に着信した場合は、本装置を遠隔操作する事ができません。

ラインモニター機能を設定すれば、FAXや留守番電話が応答中に、強制的に本装置に切り替える事が出来ます。

ラインモニター機能の設定は、「10-4.ラインモニター機能の設定」を参照して設定してください。

15. 着信用スマートホン/携帯電話での制御

本装置とスマートホン/携帯電話を接続して使用する場合には、便利な機能や注意点がありません。



15-1. 便利な機能

スマートホン/携帯電話のベルを鳴らしただけで、着信する前に本装置を自動的に動作させる事ができます。その為、着信前に電話を切ると通話料がかかりません。(一部機種のみ対応可能)

着信せずに本装置を自動的に動作させるには、下記の設定が必要となります。

また、30 秒以上呼出を継続すると通常通り着信するように設定します。

- サービスコード「096#」を設定。 解除するには、097#を設定する。
- 出力1を自動的にオン・オフさせるように設定する(「11-6. 出力オン後に自動的にオフする設定」を参照)

例 04115# リレー1の ON 動作は、5 秒間 ON し OFF に戻る動作とする

- スマートホン/携帯着信検出を設定する。

例 092# 呼出音の有無を検知する設定。呼出音の音量設定必要(中程度)

02129# 呼出し時間を 29 秒に設定。

30 秒以上の呼出しを行うと着信するように設定するには、次の A か B のどちらか一方の設定を行ってください。両方を設定すると通話が切断されますので注意してください。

- A: サービスコード 093#を設定する。
着信用スマートホン/携帯電話の自動着信機能は、OFF にする。
(093#を解除するには、094#を行ってください)
- B: 着信用スマートホン/携帯電話の自動着信機能を ON に設定し、
時間を 30 秒に設定する。

15-2. 注意点

- AU の 3G 携帯電話の場合、トーン信号が通りにくいことがあります。
この場合 [1][2][3][4][5][6] は通りづらく [7][8][9][0][*][#] は通りやすいので
パスワードは [7][8][9][0] を使用して番号を設定してください。
また操作は [1] を [*] に置き換えて操作してください。
例えば、リレー1 の出力をオンするのであれば、通常は [91#] ですが [9*#] を押します。
- イヤホンマイクからの音量が過大・過小であると正常に動作できないことがあります。

音量は中間程度にしてください。

- 発信側、着信側とも同じ携帯電話会社の場合、発信側からトーン信号が出ないことがあります。(特に DOCOMO の携帯電話の場合)

これは通信網が、同じ携帯電話会社同士の場合、トーン信号は不要と識別している為です。したがって、この場合は、通常の通話モードで無く、OCN でんわまたは、楽天でんわで通話してください。発信側、着信側とも同じ携帯電話会社という組み合わせは避け、着信側を別の通信会社の電話にするなどしてトーン信号が出るようにしてください。

- 本装置はイヤホンマイクの電圧を監視して着信を感知しています。多くの携帯電話では着信時にマイクへ電圧を供給しますが、稀にそうでないものがあります。また、一部機種では常にこのマイク端子に電圧が出ている場合があります。このような場合は、携帯着信方法を変更して御確認ください。「10-12.携帯着信方法の変更」を参照
本装置の着信が動作しない場合は本装置の受信装置としては使用できませんので、携帯電話を変更して下さい。
- 携帯電話の機種によっては、着信後数秒間、音声ガイダンスが聞こえない場合があります。その場合は、着信してから音声ガイダンスが始まるまでの時間を遅らせる事ができます。「10-9.音声ガイダンス遅延時間の設定」を参照して設定して下さい。

16. JEMA 機能

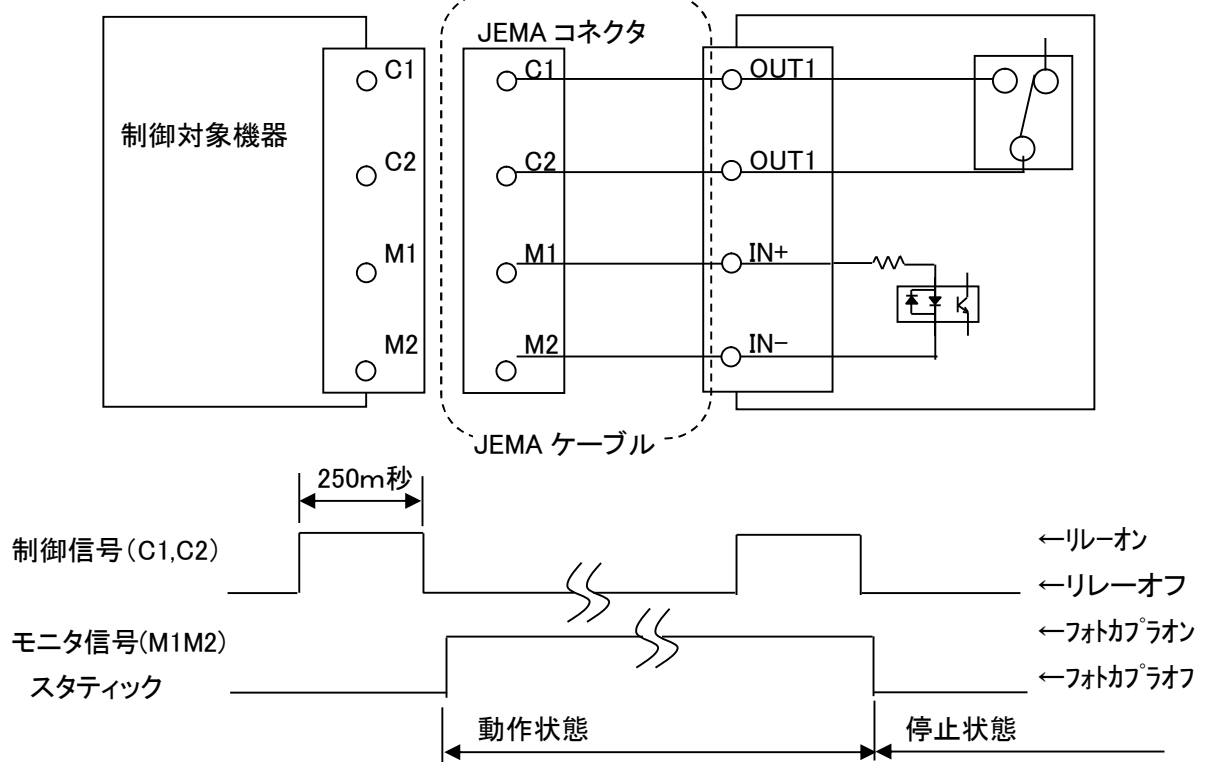
JEMA 端子とは、制御機器のオン・オフをコントロールする端子で、日本電子工業会でその規格が決められています。

この端子は HA 端子とも呼ばれます。

この機能を有効にすると以下のように動作します。

- 制御機器の電源の状態をモニターし、その状況に応じてパルスを出して、出力オン・オフを行います。
- 出力ボタンの LED は機器からのモニター信号に従い点灯消灯を行います。
- JEMA端子を使用する場合は、オンライン設定で JEMA 端子を有効に設定します。
「10-10.JEMA 端子の設定」を参照して下さい。
- 接続と JP1 の設定は「5.本体の接続 ③-2 」(11 ページ)を参照して下さい。

OUT1+と OUT1-および IN+と IN-に極性はありません。



JEMA 端子は別名 HA 端子、JEM1427 端子とも呼ばれています。ルームエアコン、給湯機（風呂）、FF 暖房、床暖房、電動開閉機器、電気錠、電気温水器、照明器具などに使用されています。カタログに上記の端子名があれば制御可能です。

さらに詳しい情報については弊社ホームページ

<https://mtrx.jp/info/jema.html> をご覧ください。

17. リレー接点出力とセンサ入力の回路

A. リレー接点出力

リレーは24V1A が最大定格ですのでこれ以上の使用はしないでください。火災などの危険があります。リレー接点出力1の回路は図8-1のようになっており、工場出荷時は図 17-1 の通常位置になっていますが、JP2を切り替えることでリレーの MAKE 接点とBREAK 接点への接続を切り替える事ができます。ただし音声ガイダンスは変わりませんので注意してください。

リレー接点出力2は、切り替え機能はありません(通常オープン固定となっています)。

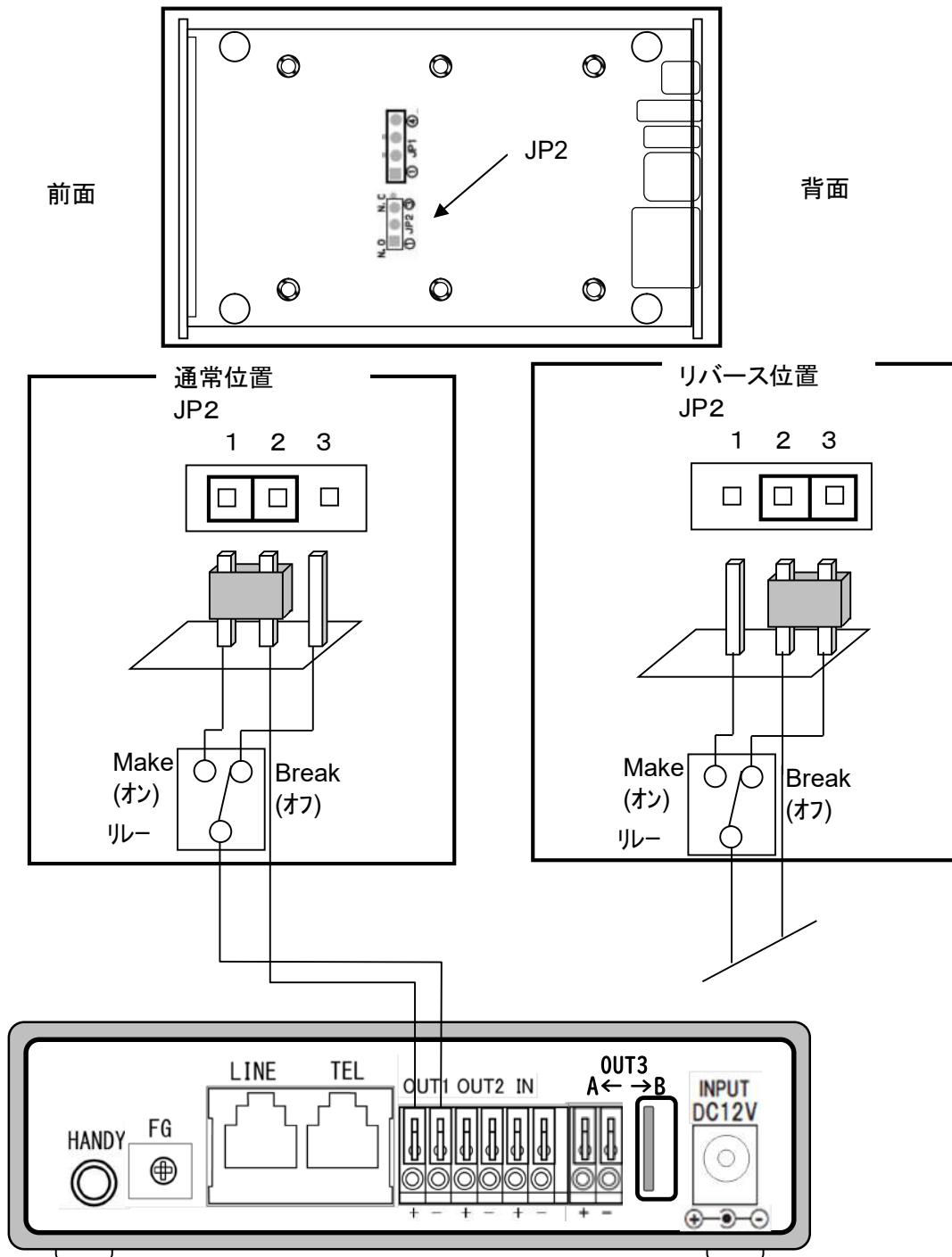


図 17-1 リレー接点出力回路

B. センサ入力

センサ入力回路は図 17-2 のようになっています。出荷時はジャンパが②-③に接続されています。したがって使用する際は装置のジャンパ切替えが必要な場合があります。図 17-2 のセンサ位置にすると IN+ と IN- に 5～12V を供給するとセンサ入力オンとなります。

電気錠などのスイッチのために内部の電源を使用してセンサ入力を使用する場合は図のようにジャンパピンで1と2、3と4をショートしてください。(装置を開けて内部のジャンパピンを変更してください。JP100 に予備ジャンパが有ります)このように変更すると IN+ と IN- をショートするとフォトカップがオンし、入力オンと認識します。

ただし装置内部の電源が外部に出ますのでノイズや他の電源とのショートには十分注意してください。

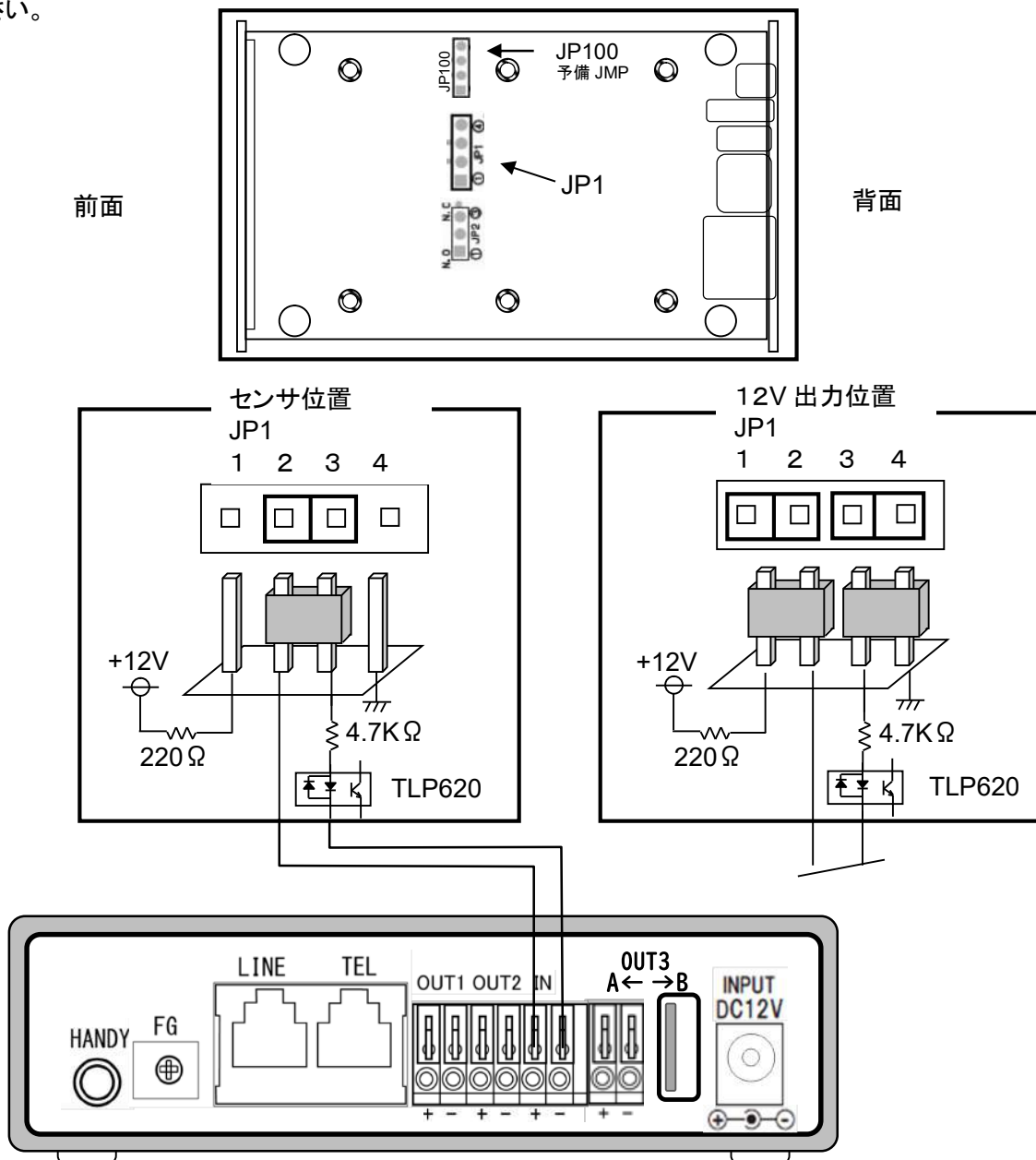
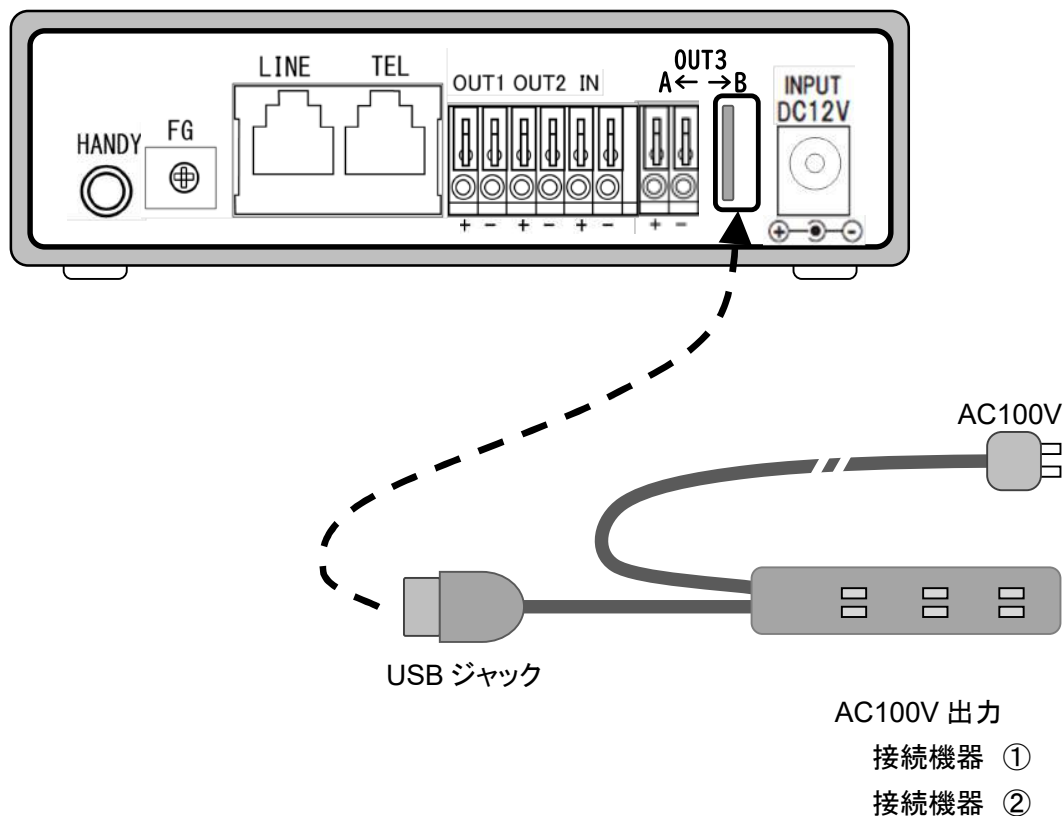


図 17-2 センサ入力回路

C. USB 連動タップ用出力について

USB 連動タップは、USB ポートの 5V 電圧を感知することで電源タップの 100V の制御を行い、接続された機器の 100V 電源を ON/OFF するものです。

(USB 連動タップは付属品ではありませんので、別途ご購入ください)



USB ジャックを本装置の OUT3-B (USB 連動タップ用) 出力に接続することで、100V の ON/OFF 制御をすることができます。

本装置の OUT3-B (USB 連動タップ用) 出力は、+5V とグラウンドのみ接続されています。
 +5V は、ON 時には+5V、OFF 時はオープン状態となります。+5V は、Max.100mA となっており、スマートホン/携帯電話の充電用には使用できません。
 また、接続される USB 連動タップの仕様をご確認の上でご使用ください。

18. 仕様一覧

項目	内容	備考
入力電圧	AC100V (50Hz 60Hz)	付属のアダプタ(DC12V 出力)を使用する
消費電力	最大3W	
リレー接点出力端子	3	OUT1、OUT2、OUT3-A の端子
リレー接点出力定格	最大24V 1A	絶対に定格を超えないでください。 OUT1 は、メークブレークはジャンパで変更可
出力端子適合電線	定格適合電線 単線:Φ1.0mm、 撚線:0.75mm ² 素線径Φ0.18mm 以上 標準剥き線長 9~10mm	使用可能電線範囲 単線 : Φ0.4mm~Φ1.2mm 撚線 : 0.2mm ² ~0.75mm ² 素線径Φ0.18mm 以上
USB 連動タップ用出力	出力電圧 5V	Max100mA
センサ入力端子	1	IN の端子
センサ入力定格	最大12V	回路図参照
設定方式	電話機から音声ガイダンスに従い DTMF(トーン)信号で設定	
制御方式	電話回線からDTMF(トーン)信号で 制御	音声ガイダンスあり
使用環境	温度0~40℃ (湿度20~80%)	ただし結露なきこと
サイズ(W x H x D)	130 x 40 x 145mm	
質量	550g	オプション含まず

19. 使用上の注意

- 本装置を人の生命や、経済的に重大な損失を与える可能性のある機器へ使用する事はおやめください。
- リレー接点出力の最大定格は24V 1A です。
これを超える装置又は回路への接続はおやめください。
最悪装置の発煙、発火を引き起こします。
- 本装置は室内用です。
屋外および日光が直接当たる所では使用できません。
- 本装置は通常の電子回路で構成されています。
場合によっては故障する場合があります。
従って本装置の故障および不具合によって発生したいかなる責務も当社はその責を免れるものとしします。

マトリックス電子株式会社

フリーダイヤル: 0120-967-232

E-mail: mail@mtrx.jp